



昨日に引き続き掘り進めた1号トレンチ南端の調査区では、縄文後期の土器が全面にわたって出てきます。土器に混じって焼けた骨の小さなかけらも出てきます(写真中の赤い串がその位置)。



一方、縄文土器がたくさん出るその北隣の調査区では、土の色の違いがはっきり見えてきました。画面左側の黒っぽい土から縄文土器が出てきます。



今日は1号トレンチ北端の調査区でみつかった縄文時代中期の貝層を調べるため、専門の先生来ていただきました。調査参加者みんなで先生から貝層調査の話を聞いています。